

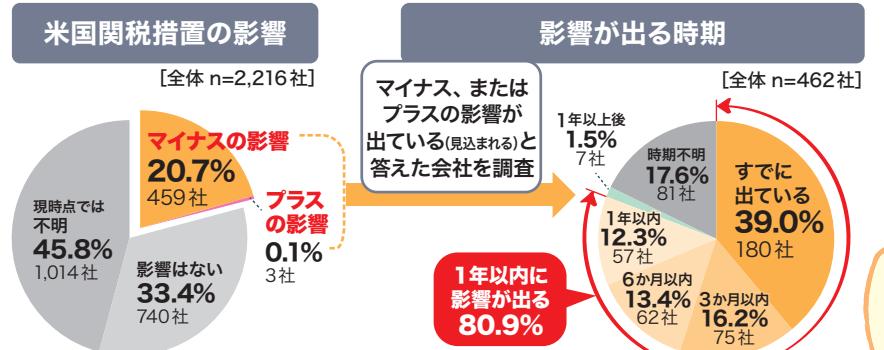
TOPICS

米国関税措置の影響と対策について

9月17日(水) 愛知県米国関税対策本部の第3回会議が開催され、県内地域企業などを対象とした米国関税措置による実態・影響調査の結果が公表されました。

それを踏まえた、今後の取り組みについても紹介いたします。

今期、経済労働委員会の副委員長として、地域の皆さんに寄り添い、お声を伺いながら、影響を最小限に留めるべく努めてまいります。



出典：愛知県米国関税対策本部第3回会議資料

今後の取り組み

6月定例議会で成立した実施中の資金繰り支援の拡充、新規事業展開や販路拡大、海外販路開拓に対する各支援策に加えて、今回の調査結果を踏まえ以下を実施。

- 価格転嫁、取引適正化の推進
- 情報提供の強化
(例：SNSによるプッシュ型情報発信)
- 生産性向上に向けたデジタル化・DX支援やロボット活用支援、展示会出展・伴走支援

愛知県は製造品出荷額等が約58兆円/年(2023年)であり、全国ダントツ1位のものづくり県。

だからこそ今回の米国関税措置による影響が大です。引き続き、地域企業に寄り添う政策の実現を図ってまいります!

ほそい・まいんど

題字：細井真司

あらためて防災に対する意識を高めましょう！

7月30日(水) カムチャツカ半島で非常に大規模な地震が発生。日本にも津波警報・注意報が発表されました。

また9月5日(金)は台風15号による大雨により境川・逢妻川に河川氾濫警戒情報が発表。刈谷市でも避難された方がおられました。

いつどこで起こるかわからない、それが自然災害です。

8月31日(日) 愛知県・田原市の総合防災訓練では、南海トラフ地震発生を想定した様々な訓練が緊張感の中、行われました。また同日の元刈谷地区の防災講演会では香川大学 磯打千雅子特命准教授が「愛知県で災害リスクエリアに居住する人口の割合が95.6%に及ぶこと」「地区居住者などが主体となり、地域の特徴を活かした災害時の“マイルール”設定(地区防災計画)の必要があること」などを訴えられました。

あらためて、常日頃から“災害に備える”意識を高めていただきますよう、お願いします！

非常食や水の備蓄、避難場所の確認、家族との連絡手段の共有など、小さな準備の積み重ねが、大切な命を守ります！



お知らせ

地域の中に事務所を設置！

地域の皆さまとの交流を図り、お声を伺うために、事務所を設置しております。今後ともどうぞよろしくお願いします。



細井真司事務所

住所：刈谷市大手町2丁目29 INOビル3F-B
電話：(0566) 23-4366

活動などを
発信して
います！



ホームページ

BESIDE YOU!

あなたに寄り添う 政策を！

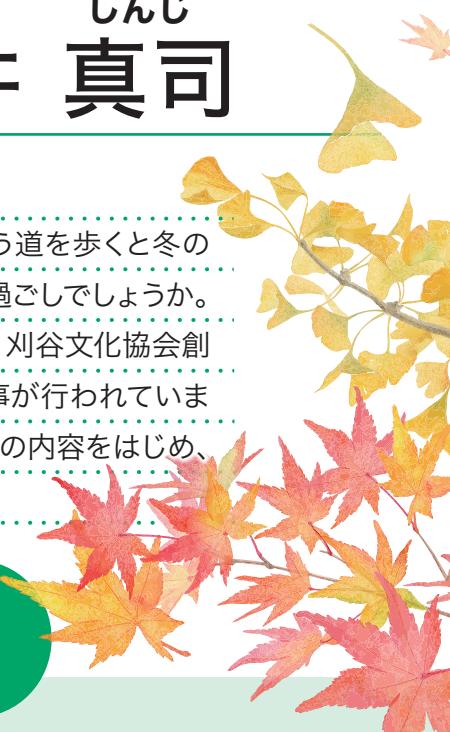
題字：細井真司



愛知県議会議員

ほそい
しんじ
細井
真司

長きにわたり暑さが続いた夏が過ぎ、落ち葉が舞う道を歩くと冬の気配を感じる時期となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。文化芸術の秋です。今年は刈谷市制施行75周年・刈谷文化協会創立50年を記念した刈谷市民文化祭など様々な行事が行われています。ぜひ足をお運びください。今号は9月定例議会の内容をはじめ、道路や防災に関する話を取り上げてまいります。



名古屋三河道路整備促進期成同盟会の会長に 大村秀章知事が就任。更なる計画推進を図ります！

9月17日(水) 愛知県庁で、名古屋三河道路推進協議会(会長：稻垣武刈谷市長)の臨時総会が開催されました。

- ・組織名称を「名古屋三河道路整備促進期成同盟会」とする
 - ・会長に大村秀章愛知県知事が就任する
- 以上、2議案が承認されました。

知事が会長になることで、国への働きかけがより強力になり着実な工事推進が期待できます。

そしてこの名古屋三河道路により県全体の広域交通ネットワーク強化が図られます！



第3回 名古屋三河道路有識者委員会(2024年12月)で
公表されたルート帯案



私が必要性を訴えてきた名古屋三河道路。

- ・刈谷市民にとってはセントレアまでの移動時間が大幅短縮
(試算すると30分程度になる可能性)
- ・企業にとってはルート短縮や渋滞解消による生産性向上などが期待できます！今後も早期整備を訴え続けてまいります！

県政
レポート
Vol.13
2025年 秋号

発行：細井真司事務所
〒448-0857
刈谷市大手町2-29 INOビル3F-B
TEL 0566-23-4366 FAX 0566-27-2128

令和7年9月 定例議会 ご報告

[9月定例議会開催日…9月22日(月)～10月15日(水)]

補正予算案、条例関係議案など計25議案を集中的に審議し可決成立!

《主な内容》

1 パーキング・パーミット制度開始に向けた準備

1,267万円

パーキング・パーミット制度とは、障がいのある方など歩行が困難な方に対して利用証を交付することで、障がい者等用専用駐車区画の対象者の明確化と当該駐車区画における不適切な駐車を抑制し、適正利用を図ることを目的とする制度。

来年6月の制度開始に向けて事務局設置や広報啓発などの準備を推進。

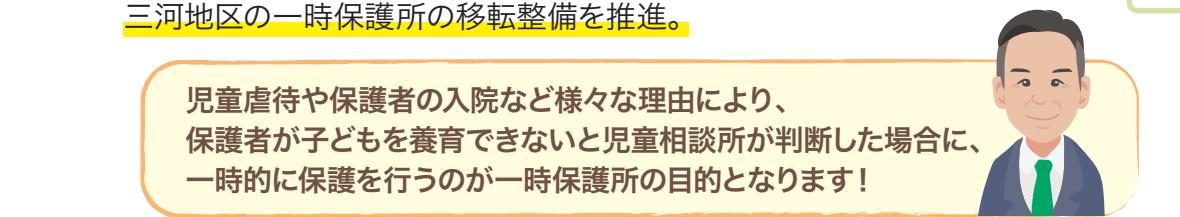


制度対象者は、障がいをお持ちの方をはじめ、要介護者、難病患者、妊産婦、けが人などの歩行が困難と認められる方々となります。誰もが住みやすい、暮らしやすい街づくりに必要な取り組みです。来年4月から利用証申請受付を開始する予定となります!



2 新たな一時保護所の整備推進

一時保護所に入所する児童の環境改善と受入体制の強化を図るため、三河地区の一時保護所の移転整備を推進。

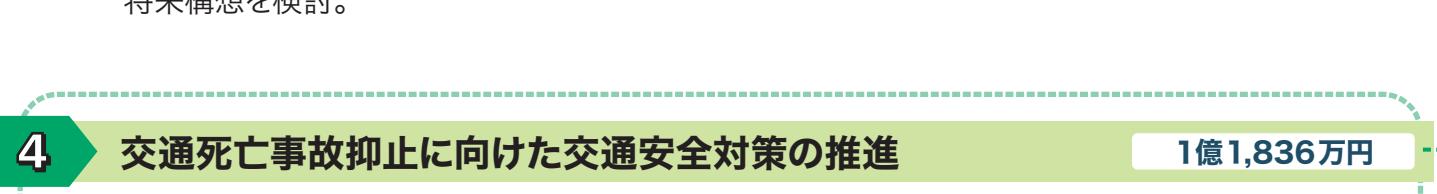


債務負担行為(※)
25億808万円

(※)複数年度にわたる事業のためにあらかじめ予算で決めておくもの

3 県営都市公園大高緑地の将来構想検討

半世紀以上にわたり県民に親しまれてきた大高緑地のリニューアルに向け、将来構想を検討。



債務負担行為
1億7,847万円

4 交通事故死亡事故抑止に向けた交通安全対策の推進

1億1,836万円

交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化などの交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進。



県内において、
①信号灯器のLED化 208灯
②道路標識の更新 614本
③道路標示の更新 190.5km
を順次整備する計画です!



代表質問のポイント

私が必要性を訴えてきた「高齢者や子どもなど『交通弱者』」のための持続可能な地域交通の整備について大村知事が更なる取り組みを表明しました。



大村秀章
愛知県知事

- 住民の身近な移動手段である地域交通を持続可能なものとするためには既存の移動手段だけではなく、「公共ライドシェア」や「デマンド型交通」などの新たな選択肢も視野に、地域の輸送資源を総動員して地域交通を再構築していくことが必要。
- 新たに専門知識や合意形成スキルを有するコーディネーターを希望する地域へ派遣し、公共ライドシェアの立上を支援するなど、新たなモビリティー導入を加速する。
- 市町村や交通事業者などと、より一層の連携を図り、住民の生活を支え地域を活性化する重要な基盤である地域交通の確保にしっかりと取り組む。



デマンド型交通(刈谷市北部で実証実験中)

交差点における安全な通行のために!

今議会で交通事故多発交差点の各種対策に関する補正予算が成立しました。

昨今、交差点における交通事故が多発しています。特に信号がない交差点は通行時注意が必要です。停止線や停止指導線があるのは安全確認が特に必要な場所です。自動車や自転車の安全な通行を心がけてください!



停止線の直前で一時停止をし、安全確認をしてください。
※「止まれ」の路面表示が無い場合は、交差点の直前で一時停止をし、安全確認をしてください。



道路管理者により、安全確認を推奨すべき場所に設置されています。停止位置の目安となっていますので慎重な運転に努めてください。



見通しの悪い交差点は、徐行(直ちに停止できる速度で走行)をし、防衛運転に努めてください。

出典: 愛知県警察ホームページ

刈谷市内における 交差点で対策中の 事例を紹介します

刈谷市一里山町



課題
●左側のカーブミラーが見づらい
●手前側道路の停止線が交差点から大きく手前になり一旦停止後、スピードを出して前方へ進んだ際、左側道路からの車両と接触する恐れ



対策
●カーブミラーの位置を見やすい位置に移動済み
●手前側道路の停止線を前に移動今後
それに合わせて注意喚起のための塗装をし直し今後
●左側道路に「交差点注意」の注意喚起塗装を追加今後



あいち民主県議団
朝倉浩一幹事長
(半田市選出)